

お手入れの方法

- ◆ご使用後は、必ずその日のうちにお手入れする。
- ◆お手入れをするときは、やわらかいスポンジ以外は使用しない。
- ◆においを防ぐため、こまめにお手入れをする。

本体外側・せんユニット

本体、せんユニットをぬるま湯が水で丸洗いし、すぐに乾いた布で水分をふきとる。※つけ洗いはしない。

本体内部(内びん)・コップ

柄のついたスポンジブラシなどできれいに内面を洗い、十分に乾燥させる。

パッキン

パッキンを中せんセットやせんユニットから取りはずし、ぬるま湯が水で丸洗いし、乾いた布で水分をふき取る。その後「パッキンの取り付け方」を参考にして、せんやふたに確実に取り付ける。

(パッキン表面にゴミなど付着していると、水もれの原因)

中せんセット

中せんセットはふた部と本体部に分解できます。「中せんセットの分解及びセット」をごらんください。

本体部からふた部をはずし、汚れたところをぬるま湯が水で丸洗いし、すぐに乾いた布で水分をふきとる。※つけ洗いはしない。

ポーチ

お湯を含ませたやわらかい布を固くしぼり、汚れをふきとる。その後日陰で干す。※丸洗いはしない。

赤サビ状の斑点や水アカなどのお手入れ

使用中、水質や不純物などにより本体内部内に「赤サビ状の斑点」が出たり「水アカ」が付着することがあります。このような場合は、以下の手順でお手入れしてください。

- ① 定水量の熱湯にクエン酸を約10g加える。
- ② 約3時間後に柄のついたスポンジブラシなどで内面を洗い、水で十分にすすぐ。
- ③ 十分に乾燥させる。

- ご使用前、およびお茶や糖分を含んだものなど、水以外のものを入れてご使用になった場合には、十分にお手入れをしてください。においを防ぎ清潔にご使用いただけます。
- 他のものと一緒に手入れするときは、製品に傷がつかないようにご注意ください。

パッキンの取り付け方

正しく取り付けられていないと、もれの原因となります。

お手入れなどで、ふたパッキンやせんパッキンを取りはずした後は、次の内容を読んで正しく取り付けます。

中せんセット

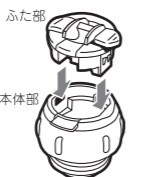
「中せんセットの分解及びセット」

分解

- ① 中せんレバーをあける。
- ② 脱着スイッチを矢印の方向に動かし、ひき上げてふた部をはずす。

セット

ふた部を本体部に注ぎ口の方向に合わせてカチッと音がするまで押し込む。



せんユニット

ふたパッキンの取り付け方

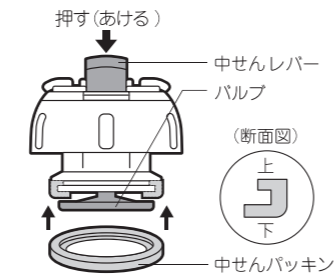
ふたパッキンの凹部をふたの凸部にしっかりと押し込む。



※正しく取り付けないと、飲みものがもれる原因となります。

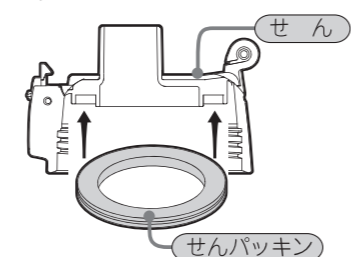
中せんパッキンの取り付け方

注ぎ口の中せんレバーをあけ、バルブが下がったことを確認し中せんの樹脂部に装着する。



せんパッキンの取り付け方

せんにはめ込み、指でまんべんなく押さえ、浮いていないことを確かめる。



修理を依頼される前に

次の項目について点検をおこなってください。いずれの場合もあてはまらない場合は、お客様相談窓口へご相談ください。

症状	点検するところ	処置
■飲みものがもれる	全てのパッキンが正しく、しっかり取り付けられていますか。	パッキンの取り付け位置や方向、浮きがないことを確認してください。
	中せんセットやせんユニットがしっかりとしまっていますか。	しっかりとしめなおしてください。
	中せんレバーやふたがしっかりとしまっていますか。	しっかりとしめなおしてください。
	中せんパッキン・ふたパッキン・せんパッキンが汚れていませんか。	「お手入れの方法」を参考にし、お手入れをしてください。
■飲みもの(本体内部・せん)がにおう	飲みものを長時間入れたままにしたり、本体内部、せんユニット・中せんセットやパッキンに茶しぶなどの汚れが付着していませんか。	「お手入れの方法」を参考にし、お手入れをしてください。汚れが落ちにくい場合はクエン酸をご利用ください。
	十分に温かい(冷たい)飲みものを入れていますか。	十分に温かい(冷たい)飲みものを正しい量まで入れてください。
■保温保冷が効かない	飲みものの量が少なくないですか。	氷をたくさん入れたり、飲みものの量を多くすると効果的です。

※中せんパッキン・中せんセット・ふたパッキン・せんパッキン・せんユニットは消耗品です。使用後半年から1年を目安にご確認ください。

アフターサービス部品について

本取扱説明書に記載されている製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後5年となっております。その他、製品に関してのお問い合わせにつきましては、お買上げの販売店もしくはピーコック魔法瓶工業(株)のお客様相談窓口にてご相談ください。

消耗部品のご購入について

製品型名・容量・色柄・部品の正しい名称をご確認のうえ、下記方法でお求めください。(製品型名は製品底面に貼ってあるシールに記載されています。)

- ① ホームページ………トップページのオンラインショップからお求めください。(取扱部品に限られておりますが、ご了承ください。)
- ② 販売店………ピーコック製品を取扱っている販売店でお取り寄せください。
- ③ お客様相談窓口……お電話もしくはFAXにてお申込みください。

部品名			
ASG型	コップ		
ASG型	中せんセット (ふた部、本体部、中せんパッキン)		
ASG型	中せんパッキン		
ASG型	せんユニット (せん、せんパッキン、ふたパッキン)		
ASG型	せんパッキン		
ASG型	ふたパッキン		
ASG-W80/W81型	ポーチ	ASG-W100型	ポーチ

※各消耗部品については、各部のなまえの項目をご覧ください。

ホームページアドレス <https://www.the-peacock.co.jp>

お客様相談窓口

- 受付時間 9:00~12:00 13:00~17:00
月曜日~金曜日(祝日・弊社休業日を除く)
- ナビダイヤルがご利用いただけない場合はこちらへ
06-6453-9489
- FAXでのお問い合わせ FAX番号 06-6453-9589
製品の型名(品番)・お問い合わせ内容と、お客様のお名前・ご住所・電話番号・FAX番号を記入のうえ、FAXでお問い合わせください。



ピーコック魔法瓶工業株式会社

本社 〒553-0002 大阪市福島区鷺洲5丁目12番20号

Peacock

保温保冷用/保冷専用

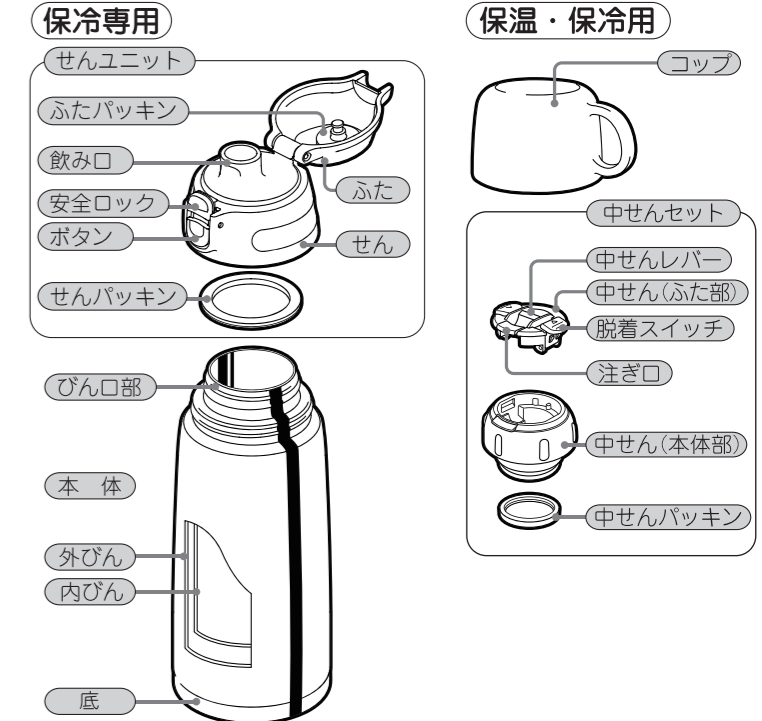
ステンレスボトル 2WAYタイプ

ASG

取扱説明書

このたびは、ピーコックステンレスボトルをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。ご使用前にこの説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

各部のなまえ









説明書中のイラストは、実際のものとは異なる場合があります。

後々のため、この説明書を大切に保管してください。③

安全上のご注意

もれやあふれは他のものを汚す原因となります。

飲みものの保温・保冷以外に使用しない

<p>乳幼児の手の届くところには置かない。またいたずらに注意する。</p>  <p>やけど・けがなど危険。</p>	<p>熱いやかんをびん口部に触れさせない。</p>  <p>転倒しやけどなどのおそれ。傷・変形の原因。</p>	<p>熱い飲みものを入れた場合は、直接飲まないで必ずコップを使用する。</p>  <p>やけどのおそれ。</p>
<p>ストーブやコンロなど火のそばに近づけない。</p>  <p>変形・変色の原因。</p>	<p>倒したり、落としたりぶつけたり、強い衝撃を与えない。</p>  <p>破損・保温(保冷)効果の低下・サビ・飲みものもれの原因。</p>	<p>中せんのレバー方向での注湯(注水)はしない。</p>  <p>お湯が飛び散り、やけどや他のものを汚す原因</p>

- 絶対に入れない**
- **ドライアイス・炭酸飲料など**
本体内の圧力が上がり、中せんセット・せんユニットがあかなかつたり、飲みものが吹き出たり、部品が破損してけがなどのおそれ。
 - **みそ汁やスープなど、塩分を含んだもの**
サビ・保冷効果の低下の原因。
 - **牛乳・乳飲料・果汁など**
腐敗・変質・サビの原因。そのまま長く放置した場合、腐敗・変質によりガスが発生して、本体内の圧力が上がり、飲みものが吹き出たり、部品が破損してけがなどのおそれ。
 - **果肉・お茶の葉など** もれなど故障の原因。

- **飲みものを入れた場合は、使用後、すぐにお手入れをする。**
外出時など十分なお手入れができないときでも、すぐに本体内側をよく水ですすぐ。帰宅後に、十分お手入れをする。カビの発生・サビ・穴あきなど故障の原因。
- **飲みものを入れた状態で長く放置しない。** 腐敗・変質の原因。

- **保冷専用のせんユニットを使用のときは、熱い飲みものは絶対に入れない。** やけど・もれなど危険。
- **本体の底に貼ってある保護シールは、絶対にはがさない。** はがすと、保冷効力が低下するおそれ。
- **製品の横置きは避ける。** もれるおそれ。
- **大きな水を入れる場合は、押し込まず小さくして入れる。また、アイスピックなど先のとがったもので突かない。** 傷・もれ・変形など故障の原因。
- **中せんセット・ふた・せんユニットは確実にしめて使用する。安全ロックも確実にしめ、本体を傾けたりして飲みものもれしないことを確認する。** 確実にしめないと、もれるおそれ。
- **パッキンは全て必ずつけた状態で使用する。** もれ・車内や衣服を汚す原因。
- **コップ・中せんセット・ふた・せんユニットを持って運ばない。** 落としてケガや破損の原因。
- **バッグなどに入れるときは、本体を縦に置く。万一のもれを防ぐため、必ず縦に置く。**
- **パソコン・携帯電話・デジタルカメラ等の精密機械と一緒に持ち運ばない。** 万一飲みものもれがあった場合、精密機械の破損の原因。
- **自動車運転中は使用しない。** 車内や衣服を汚す原因。運転者の場合、運転への注意が散漫となり危険。
- **改造や分解修理はしない。** 故障や事故の原因。
- **冷凍庫に入れない。** もれなど故障の原因。
- **電子レンジでの加熱はしない。** 火花が飛び危険。変形や変色の原因。

- ポーチについて**
- **ポーチのベルトを持って振りまわさない。**
 - **ベルトを首から下げたまま遊んだり、周囲のものに引っ掛けたり、乱暴な取り扱いには絶対にしない。** 故障や事故の原因。
 - **ポーチは過度の摩擦や水濡れなどにより、多少色落ちや色移りする場合がありますので注意する。**
 - **製品が濡れている状態でポーチに入れたまま放置しない。**
 - **ポーチは丸洗いしない。**

- **注湯(注水)操作後、製品を横置きした場合、また冷水を長時間保冷した場合に、中せんの注ぎ口から残留水滴や結露水がもれることがあり、他のものを汚す原因となるので注意する。** この場合は、中せんレバーを倒した状態で、注ぎ口を下にして本体を軽く上下に振って水滴を出す。
- **ご使用中、コップの裏側や中せん、びん口部に濡れたような水滴がつく場合がありますが、この症状は水もれではありません。** 水蒸気が凝結して水滴となる結露現象です。

- 熱い飲みものを入れた場合(コップ・中せんセット使用时)**
- **熱いお茶を長時間保温すると、お茶の色が変わるため、外出時は、ティーバッグなどを使用する。** お茶を保温すると、お茶の色や風味が変わります。これはお茶の成分が時間とともに変化するためのもので、人体に害はありません。
 - **熱い飲みものを入れ長時間放置すると、内部が減圧され、中せんレバーがあげにくくなったり、あけるとき、音がする場合がある。**
 - **熱い飲みものを入れて使用するときは、本体を急に傾げずゆっくりと注ぐ。** 急に傾げると飲みものが勢いよく出て、やけどなどのおそれ。
 - **熱いものを入れた直後、本体を振らない。** 内圧が急に上がり中せんレバーがあげにくくなったり、あける時、音がする場合があります。
 - **傾けた状態や顔の近くで中せんレバーをあげない。** 熱湯を入れた場合、湯が急激に出たり、飛散してやけどのおそれ。

- お手入れ上の注意** お手入れ前によくお読みの上、必ずお守りください。
- **塩素系漂白剤は使用しない。** サビ・穴あきなど故障の原因。
 - **本体外側は、漂白剤を使用しない。**
 - **本体内部に酸素系漂白剤を使用する際は、中せんセットやせんユニットを取りつけない。** 本体の内圧が上がり、中せんセットやせんユニットが飛び出すなど危険。
 - **アルコール・シンナー・ベンジン・金属たわし・たわし・みがき粉・クレンザー・化学ぞうきん・台所用以外の洗剤などは使用しない。** 本体プリント部分のはがれ・傷・サビ・変形・もれなど故障の原因。
 - **本体・中せんセット・せんユニット・パッキン・飲み口・ストローの煮沸および食器洗浄機、食器乾燥機などの使用はしない。** 傷・サビなど故障の原因。
 - **本体は丸洗いができますが、つけ洗い(水中に放置)はしない。**
 - **本体を丸洗いした後は、必ず水分をふきとる。** ふき取らないと、水滴のあとが残ったり、サビや他のものを汚す原因。
 - **長時間ご使用にならないときは、よくお手入れをして汚れを落とし、十分乾燥させて高温多湿を避けて保管する。**

ご使用方法

ご使用前にコップ・中せんセット・せんユニット・内びんを洗ってからご使用ください。

- コップ、中せんセット(保温・保冷用)**
- コップ、中せんセットをはずす**
本体からコップ、中せんセットを矢印の方向にまわしてははずす。
 - 熱い(冷たい)飲みものを入れる**
※あらかじめ少量の湯(冷水)を入れ、1分程度予熱(予冷)するとより効果的です。
※飲みものの量は図の位置までにする。
飲みものを入れすぎて中せんセットをしめると、飲みものが吹き出したり後からもれ出すことがあります。飲みものを入れすぎた場合は、少量の飲みものを捨ててから、元どおり中せんセットをしめてください。
 - 中せんセットをしめる**
①中せんセットは矢印の方向にまわして最後まで確実にしめる。
②中せんセットをしめた後は、必ずレバーが下がっているかを確認する。
 - 飲みものを注ぐ**
①中せんレバー(A)部を指で押し下げる。
②製品本体を持って注ぎ口方向へ傾けて注ぐ。
※傾けたまま、中せんレバーを絶対に押し下げないでください。飲みものがあふれ出すことがあります。
※中せんレバーの操作が堅くて押せないときは、無理やり下げないで一度せんをゆるめて、レバーを指で押し下げ、そのまましめなおしてください。
 - 注ぎ終わったら**
①必ず製品を立てた状態で2~3秒してから中せんレバー(B)部を指で押し下げてください。
※注ぎ口周辺や中せん内部に、飲みものがわずかに残留する場合があります。特に製品を横置きにした場合にこぼれることがあります。
②コップは最後までゆっくり確実にしめてください。
- せんユニット(保冷専用)**
- せんユニットをはずす**
本体からせんユニットを矢印の方向にまわしてははずす。
 - 冷たい飲みものを入れる**
※あらかじめ少量の冷水を入れ、1分程度予冷するとより効果的です。
※飲みものの量は図の位置までしてください。
飲みものを入れすぎてせんユニットをしめると、飲みものが吹き出したり後からもれ出すことがあります。飲みものを入れすぎた場合は、少量の飲みものを捨ててから、元どおりせんユニットをしめてください。
 - せんユニットをしめる**
ふたをしめた状態で、せんユニットを矢印の方向にまわしてしめる。
 - ふたをあけて飲みものを飲む**
①製品を立てた状態で、安全ロックを上げる。
②ボタンを押してふたをあげ、ゆっくり傾けながら飲みものを飲む。
 - 飲み終わったら**
①飲み終わったら、製品を立てた状態でふたをカチッと音がするまで確実にしめる。
②安全ロックを下げて、ロックする。